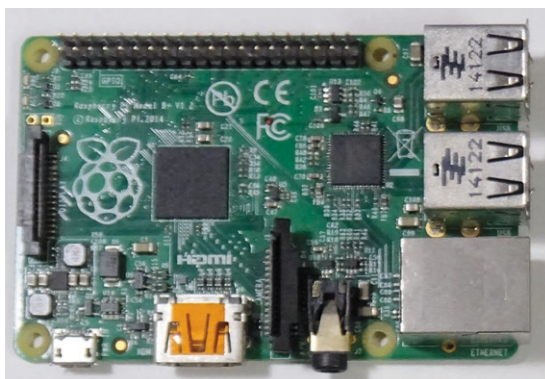
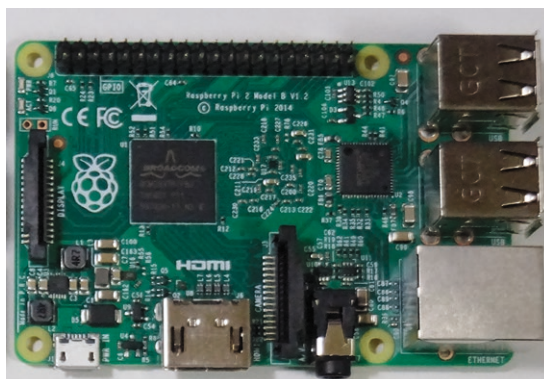


新型ラズベリー・パイ4の実力

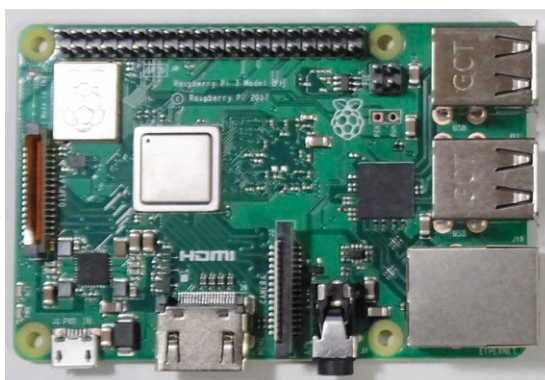
森岡 澄夫



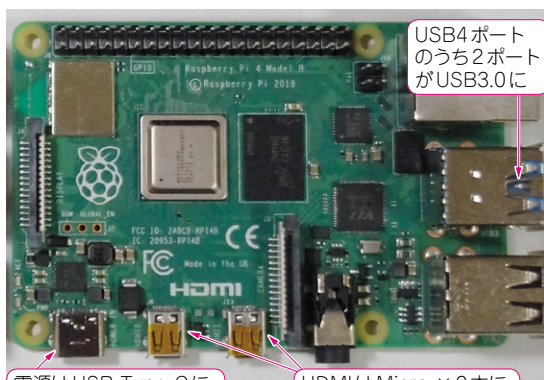
(a) ラズベリー・パイ 1B+ v1.2



(b) ラズベリー・パイ 2B V1.2



(c) ラズベリー・パイ 3B+



電源はUSB Type-Cに

HDMIはMicro × 2本に

USB4ポート
のうち2ポート
がUSB3.0に

(d) ラズベリー・パイ 4B

写真1 定番コンピュータ Raspberry Pi (ラズベリー・パイ) に新型が誕生

ラズベリー・パイ 4B (Raspberry Pi 4B) が2019年6月に発表されました。実機を入手して動かすことができたので報告します。3B+と比べてかなり(場合によっては2倍近く)、性能が向上しています。ですが、消費電力や発熱の面では厳しくなっているようです。

特徴

● コネクタ周りが進化

ラズベリー・パイ 1～4の各ボードを並べてみると

(写真1)、4で顕著に外観が変わったのがコネクタ周りです。

電源供給は、USB Micro-BからUSB Type-Cになりました。

モニタ出力はHDMIコネクタ標準1本からマイクロHDMI2本になりました。

USBインターフェースは2.0が4本から3.0が2本と2.0が2本になりました。

公開されている主な仕様の比較が表1です。これまでのバージョン・アップと同じく、改良の力点はプロ